6年に一度のチャンス!!

1200年もの歴史を誇る

「西金砂小祭礼」を見に行こう！

全国から「こんなスゴイお祭りが茨城にあったんだ！」と注目され、見物人であふれた72年に一度の金砂大祭礼から12年。平安時代初めの弘仁6年(815年)から一度も休まず丑年と未年に行われ、今年が199回目になるという西金砂神社小祭礼が、**3月26日（木）**から始まります。「常陸大宮市は関係ないでしょう」なんて、とんでもない。西金砂神社を支えている4つの氏子地区のうち、最も世帯数が多いのが、諸沢地区なのです。

しかし諸沢はもちろんのこと、祭礼を支えている旧金砂郷・水府地域は、近年の人口減少によって、祭礼を維持することが難しくなっています。

小祭礼の見どころは、行列や田楽ばかりではありません。神社の祭礼と並行して行われる地区ごとの祭礼や、先祖から続く古い家々の役割など盛り沢山。お祭り期間中は神様のパワーも全開（!?）です。

さあ皆さん、歴史ある祭礼を私たちの代で絶やさぬために、お祭り見学に行きましょう。

<ここに注目！小祭礼>

掛合い

桟敷割り

花纏繰込み

潮掛け桜

本殿

出社祭

渡御行列

田楽

御輿台

西金砂神社

19:00 ご入社
18:30 潮水行事

3/26（初日）
10:00 出社祭
13:00 ご出社

15:00 祭典・田楽
13:30 花纏繰込み
12:30 境内到着

往路

10:00 天下野 14:30

8:30 永久橋通過

16:30 永久橋
（七度半）

8:00 中染発 中 染 18:00 着 泊

3/29（最終日）
23:00 中染着 泊

3/27（2日目）
14:00 祭典・田楽
※町田火消行列は人口減少により不参加

復路

3/28（3日目）
8:00 中染出発
和田 10:30 着
祭典・田楽

22:30 バスで出発

太田馬場八幡神社
19:30 着 祭典・田楽

※時間はあくまでも目安で諸事情によって変わります。

<これも注目!!>

諸沢で見られる小祭礼行事

諸沢地区では山方公民館諸富野分館に祭礼事務所を開設。山後見人（やまごけんにん）と宿後見人（しゅくごけんにん）を頂点とする伝統の組織で祭礼にあたります。見せ場は、最終日に神社境内（オオマチバ）で行う花纏（はなまとい）の繰込みですが、その前後の日（28日と30日）の昼過ぎにも、春の日差しの中、梅や水仙が咲きにおう諸沢の山里を、にぎやかにお囃子を奏しながら花纏行列が練り歩きます。

◆「常陸大宮市のたからもの」ホームページ http://hitachiomiya-furusatobunka.com/もご覧ください